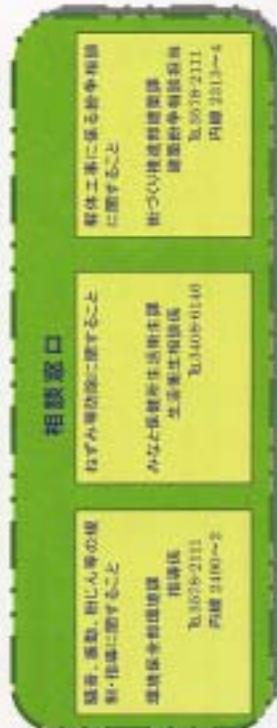


## 「港区における建築物の解体工事に関する指針」について

区長の皆さん、要注者、元請業者、下請業者の皆さんへ



解体工事の騒音・振動等に対する  
近隣住民からの苦情が増えています！

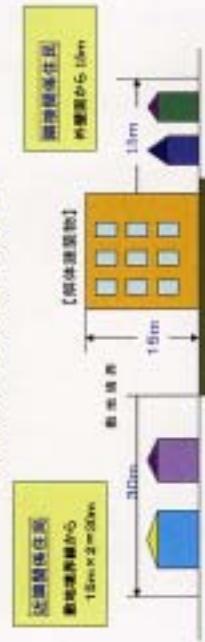
（註）本圖為根據前引之資料所作之圖，其上之數字為各國在該年間所產之總量。但中國之數字為據該年所產之總量，而日本之數字則為據該年所產之總量減去輸出數量。故中國之數字較日本為大。

卷之三

- 「事前」は総工事が完成する予測されてながらも、「工事が進むるまで実際への延滞がたりない」という総括性は専らからだの感覚が増しています。  
一方で、総工事に付けて生ずる総括性を実現に指向するのに、「施設における問題解決の構造化」は、総括工事に対する予測問題を実現に指向するに付けています。  
つまり、総括工事を行なう場合は、問題解決や専門の選手はもとより、この構造により適正な施工を行ない、延滞問題を仕事の実質的構造に付けて生じさせない、という十分性を付しておけばいい。

ナニヤの博物館

- |          |   |
|----------|---|
| 解体工事     | 建築構造改修工事に定める構造耐力上主要な構部分(柱)又は接合部の基礎、基礎脚、梁、柱、小屋架、土間、床、壁、天井等の全部又は一部を除く工事 |
| 施設解体工事   | 解体工事に係る建築物の外壁剥離からその裏と等しい水平距離の範囲内に限<br>れる工事                            |
| 近隣騒音遮蔽工事 | 近隣騒音遮蔽の物を新規設からすの裏との2階の水平距離の範囲内<br>に厚仕する工事                             |



新規鉄工事に係る床面積の合計が80平方メートル以上のもの

の用語の解説が、本稿の構成要素を構成するものに特徴がある。筆者によると、「解説」は「解説文」「解説書」「解説字典」などと並んで「解説」の用語の解説である。筆者は、この用語の解説が、本稿の構成要素を構成するものに特徴がある。

《新編中華書局影印本》卷之三，三一七—三二〇頁。

卷之三

第三章 工業化與社會

卷之三

先習に繋し、十分記憶した対面会立てる必要が無いです。

117

周辺住民の身になって

細かい心遣いを！



- 構体工事における問題は、送達性不足とのコミュニケーション不足から発生することが多いです。
  - 構体工事においては、事前説明はもちろん伝達手段も用意の裏番や要望に適する選択が必須です。
  - 構体工事中についても工事実際の変動等、良好な連携関係を保つください。
  - 構体工事中に苦情を受けた場合は、相手方と十分話し合ひ迅速な対応に努めてください。